

## 今年の夏も遊びながら学ぼう！

小田地域課では、子どもたちが夏休みを楽しみながら学べるイベント「小田こども学び&体験大特集！」(1025735)を8月24日まで開催しています。同イベントは、「子どもたちが自分たちの暮らしを大切にしたい」と地域の思い出をつくり、もつとまちを好きになってもらいたい」と地域の大人たちが企画したもので、今年で3年目を迎えました。



昨年はこどもオセロ大会やダンボールクラフト教室(右下写真参照)など全20イベントを開催し、約1500人が参加しました。中でも「遊ぼう!学ぼう!小田夏祭り(左下写真参照)」では、子どもが学べるブースの設置や尼崎小田高校の生徒たちによる部活動の成果発表など、幅広い年代の人たちが参加しました。参加者の皆さんからは、「習字や防災クイズが楽しかったです」「高校生がいきいきしていて元気をもらった」などという声を頂きました。



今年も地域の子どもたちによるコンサートや、地域企業にご協力を頂いた食品サンプル作り、高校生と一緒に遊べる夏祭りなど、初めて参加する人も過去に参加した人も楽しめる内容です。同イベントは小田南生涯学習プラザをはじめ、小田地区の10カ所の施設で開催しています。普段あまり行くことのない施設にも足を運んで、この夏のお出を一つ一つつくってみませんか？

「お元気ですか?」  
ご近所同士で助け合い

大庄地区では、社会福祉連絡協議会を中心に、全域で高齢者の見守り活動を行っています。対象は、見守りを希望される高齢者のみの世帯です。活動の方法は地域により異なりますが、活動歴1年の加藤さんたちのグループは月に4回、仲間と1時間ほど活動しています。ごみ拾いもしつつ、「定年までは地域のことなんてほとんど知らなかったよ。僕らこそ見守られる方もしれん」と笑う加藤さん。加藤さんたちは月に2回は家を直接訪問し、残りの2回は新聞や家の明かりなどの様子を見ることで、高齢者の皆さんの無事を確認しています。



グループの皆さんが地域の高齢者の家を訪ねた時の様子

また、「マンションの上の階に住んでいて、ごみを集積場まで持って下るのが大変だ」など見守り活動の時に聞いた困り事を解決したいとボランティアグループを結成し、ごみ出しや電球交換などのお手伝いをしている地域もあります。

日々、地域の皆さんとお話すると、心が洗われる瞬間があります。地域のすてきな活動をもっと紹介したいと、大庄地域課ではフェイスブックを開設しました。ぜひフォローしてください(下記QRコード参照)。

まちづくりは、  
爽やかなあいさつから!

若王寺・小中島を中心とした地域では明るく爽やかなまちづくりを目指し、日ごろから学校や事業所などの地域住民同士であいさつすることに取り組んでいます。平成20年には地域住民と小園中学校の呼び掛けで、同地域内の学校・事業所で構成される「さわやかあいさつの会(1002715)」が結成されました。

同会の取り組みの一つとして、あいさつ運動のポスターを毎年募集し優秀作品を表彰しています。子どもたちの作品は大人も考えさせられるものが多く、コロナ禍でも子どもたちの活動の場を維持したいという同会の皆さんと相談し、今年も同ポスターを募集することになりました。

また、同地域内の小園小学校区では、登下校時に保護者や地域の人が横断歩道付近に立ち、あいさつをしながら子どもたちを見守っています。登校中の子どもたちを見て、「あの子は少し早く来るようになったな」「あの子のお姉ちゃんは今もう中学生になったんや」など、地域の方はいつも優しく気に掛けてくださいます。2学期からも子どもたちの元気なあいさつが聞けますよつに!



小園小学校付近での見守り活動の様子